

★今週の聖句

「わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである。」

マルコ2:13-17

★ねらい

イエスさまが罪人を招き、罪人と食事を共にされ、罪人を弟子とされたことの真意を探る。

★説教作成のヒント

徴税人レビの召命物語と、罪人と食事を共にされたイエスさまの物語が、分離してしまわないように心掛ける。

★豆知識

当時の徴税人が罪人と見なされていたのは、彼らが王や皇帝の権威を笠に着て法外な税金を取り立てていたことに加え、職業柄、外国人(異邦人)の手垢にまみれたお金にも触れざるを得なかったから。つまり、徴税人は宗教的にも汚れていると見なされていたのである。徴税人の救いに関する物語としては、ザアカイ(ルカ福音書19章)の話しも参照されたい。

★説教

イエスさまが、レビさんをお弟子さんにされた時のお話しです。レビさんは徴税人といって、人々から税金をとりたてるお仕事をしていました。当時の徴税人は、王様や皇帝から命令されるがまま、人々から税金をとりたてていたため、皆から嫌われていました。「俺たちからたくさんの税金を巻き上げるなんて、なんて酷い奴だ」「悪い奴だ」「罪人だ」と。レビさんも、そうでした。だから、誰も話しかけてなんかくれやしませんでした。

そんなレビさんに、優しく声をかけてくれた人がいました。「わたしに従いなさい。」そう、イエスさまです。これは「わたしのお弟子さんになりなさい」という意味です。イエスさまから、お弟子さんとして認められたレビさんは、どんなに嬉しかったことでしょう。

そこでレビさんは、お礼にイエスさまをお家に招待しました。そこには、レビさんと同じ徴税人や、罪人と呼ばれた人たちも招かれていました。ここで言う罪人とは、「こいつは変な仕事をしているから嫌な奴だ」「悪い奴だ」と、周りの人たちから勝手に決めつけられてしまった人のことです。しかし、イエスさまはそのような周りの評判は気になさらず、一人一人の心をご覧になる方なので、徴税人や罪人たちと一緒に楽しく食事をしたのです。すると案の定、律法学者がイエスさまのお弟子さんたちに言いました。「どうして、あなたたちの先生は徴税人や罪人と一緒に食事をするのか」と。それを聞いたイエスさまは、こうお答えになりました。「わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである。」律法学者は、自分は律法をきちんと守っているから正しい! 罪人なん

かじゃない！とっていました。しかし、イエスさまが喜ばれるのは、自分にも足りないところがあるなあ、悪いところもあるなあ…と、神さまと人にと素直に「ごめんさい」と言える人です。イエスさまは、そのような人をご自分のところへ招いてくださるのです。

### ★分級への展開

○讚美しよう                      \*讚美歌は”こどもさんびか”(日キ版)より

□53番      □改訂版119番

○はなしてみよう

- ・誰かに声をかけてもらったり、誰かと一緒に食事が出ることの喜びについて、分かち合ってみましょう。その誰かが、イエスさまだったとしたら？
- ・現代社会における税金の役割と実際の使われ方、またその徴収方法について調べてみましょう。また税金が、本当に必要な所に使われているか？神が喜ばれるお金の使い方、使われ方とはどのようなものなのか、考えてみましょう。

○やってみよう

### ★イエス様に招かれてお茶会をしよう

イエスさまが一人ひとりを招いてくださっています。  
感謝してお茶会を開きましょう。

#### ♡ サンドイッチをつくらせて食べましょう



サンドイッチ用パン

人参ペースト



{ 人参をすりおろしにレモン汁と  
塩・こしょうを加えて混ぜ。  
マヨネーズで合える

サンドイッチ用パンに マーガリンと人参ペーストをぬり重ねて、食べやすい大きさに切ってお皿に並べます。

★今週の聖句

「新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れるものだ」

マルコ2:18-22

★ねらい

イエスさまが共にいてくださる喜び、イエスさまの新しい御言葉を聴く喜びを伝える。

★説教作成のヒント

選ばれている聖句は、単独で切り離されて格言のように使われることもあるが、この一節だけでは説教を展開するのは難しいだろう。むしろ具体的な「新しいぶどう酒」「新しい革袋」を、テキスト前半の断食問答の中から見い出してみてもうかがうだろうか？

★豆知識

ヨハネの弟子たちとは、洗礼者ヨハネの弟子たち。当時のエリート集団だったファリサイ派とは違って、ヨハネの弟子たちは一般大衆の中で活動していた。しかし、こと断食に関しては似たような見解を持っていたようである。言うまでもなく、イエスさまも断食を否定しておられるわけではない。しかし、「断食するときには、偽善者のような沈んだ顔つきをしてはならない」(マタイ6:16)とも言われている。どのような宗教的な行為であっても、それが神に認めてもらうためのものであったり、あるいは人にひけらかすようなものであっては、本末転倒である。

★説教

皆さんは、一日に何回ご飯を食べますか？朝、昼、晩。そう、皆さんのようにこれから体も心もどんどん大きくなっていく子どもたちは、一日3回ちゃんと食べることが大切です。もし1回でもご飯を抜いてしまうと、お腹はペコペコ、頭はぼーっ、体はふらふら。だから、朝ご飯もお昼の弁当や給食も夜ご飯も、残さずにしっかり食べてください。食べる時は、誰かと一緒に楽しく食べるとおいしさもアップしますね。料理を作ってくれた人と、食べ物を与えてくださった神さまへのありがとうの気持ちも、忘れずにね。

さて、イエスさまもいろいろな人と一緒にご飯を食べることが大好きでした。お弟子さんたち、徴税人や罪人と呼ばれていた人たち、それに誰も友達がなくて一人寂しい思いをしている人の所にも行って、イエスさまと一緒にご飯を食べました。ところが、そんなイエスさまを見て、「なぜ、あなたや弟子たちは断食しないのですか」と悪口を言う人がいました。断食というのは、ご飯を食べないこと。お腹が空いても食わずに我慢すると、みんなからもスゴイと言われるし、神さまからもほめてもらえる…と、多くの方はそう考えていたのです。しかしイエスさまは、そんな格好つけなくても、神さまに認めてもらおうとがんばらなくても、神さまはちゃんとあなたのことを愛してくれるよ、と言われたのです。これは、当時の人たちにとって初めて聴くお話でした。みんなてっきり、自分でがんば

らないと神さまから怒られてしまう…とっていましたからね。

イエスさまは、「新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れるものだ」とも言われました。それは、イエスさまのお話を聴く時には、心を入れ替えて、新しい気持ちになって聴いて欲しい！と思われたからです。私たちも、イエスさまの御言葉を聴く時には、いつも素直な気持ちで聞けますように。

### ★分級への展開

○讚美しよう                      \*讚美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

□1番      □改訂版8番

○はなしてみよう

- ・今でも、断食をする人たちはたくさんいます。それは、どのような人たちでしょうか。また、彼らは断食にどのような意味づけをしているのでしょうか。「花婿が奪い取られる時が来る。その日には、彼らも断食することになる」（20節）と言われたイエスさまの御言葉についても考えてみましょう。
- ・ 並行記事（ルカ5：33～39）において、イエスさまは「古いぶどう酒を飲めば、だれも新しいものを欲しがらない。『古いものの方がよい』と言うのである」と、補足されています。私たちの教会はどうでしょうか？

○やってみよう

#### ☆破れない布を作ってみよう

<用意するもの> 古い布（着物の古い端切、何度も洗った夏服の端切など出来るだけ古いぼろぼろの物）、新しい布針、糸、ハサミ（高学年はそれぞれに古い布と新しい布を10cm角程度、低学年は古い布、新しい布を大きめに）

#### ◇高学年

生徒は古い布と新しい布を自分で縫い合わせてみる。その後両方を引っ張ってどうなるか試してみる。

#### ◇低学年

大きめのハンカチかタオルくらいの古い布と新しい布を先生が縫い合わせて皆で引っ張り合ってみる。

参考 ※ビジュアル聖書百科 p128 皮袋の絵

□古い布が手に入りにくい場合ペットボトル、昔の水筒、竹筒、瓢箪、等、お酒や水を入れていた物、（実物や写真）を集めてみんなで水を入れてみたり出してみたりしてどれが便利か、較べてみても面白い。

★今週の聖句

「人の子は安息日の主でもある」

マルコ2:23-28

★ねらい

安息日（主日）が、私たちにとっても神さまにとっても、喜びの日であることを伝える。

★説教作成のヒント

教会によっては、必ずしも主日が日曜日ではなく、土曜日やその他の平日となっている教会もあるかと思うので、その場合は「日曜日」ではなく、当該曜日に変更されたい。曜日はいつであれ、週に一度、神さまによって誰もが教会へ招かれている恵みを伝えられればと思う。

★豆知識

安息日に麦の穂を摘んで食べた弟子たちを見て、イエスに言いがかりをつけたファリサイ派の念頭には、安息日には一切の仕事をしてはならないと定められている「十戒」（出エジプト20章8節以下、申命記5章12節以下）があったのだろう。しかし、同じ『出エジプト記』23章12節には、安息日は「あなたの牛やろばが休み、女奴隷の子や寄留者が元気を回復するため」とあり、また『申命記』5章の「十戒」の中にも、「あなたの男女の奴隷もあなたと同じように休むことが出来る」とある。すなわち安息日は、私たちが休むため、私が元気を回復するために定められたのである。いずれにしても、「十戒」に記された安息日規定の根拠は、神の天地創造の御業を覚え、出エジプトの御業の恵みを想起することにある。

★説教

今日も、教会学校に来てくれてありがとう。みなさんがこうして日曜日（説教作成のヒントを参照）に教会へ来てくれると、私も他の教会学校の先生も、お友達もみんな嬉しいです。みんなと一緒に、心を合わせて讃美歌を歌い、イエスさまのお話を聞き、そして神さまにお祈りすることは、楽しいですね。中には、教会学校の礼拝よりもその後の分級を楽しみにしているお友達もいるかもしれませんが、それでもいいのです。お友達と楽しく遊ぶ時にも、イエスさまはニコニコしながら、私たちと一緒に遊んでくれるのですから。

さて、みなさんが教会にやって来て、礼拝にあずかり、楽しく遊ぶ日のことを、聖書では「安息日」と呼んでいます。「安息」というのは、お仕事をしないで静かに休むことです。大人になると、お父さんやお母さんも毎日夜遅くまで一生懸命お仕事をし、1週間が終わる頃にはすっかり疲れてしまいます。何も大人だけではありませんね。みなさんも幼稚園や学校に毎日行くのは楽しいけど、そのぶん疲れることもあるでしょう？だから、週に一度のお休みの日くらいは、体も心もゆっくり休むこと

が大切です。

お休みの日は、もちろん家でゆっくり過ごしたり、どこかへお出かけしてもいいのですが、神さまを信じている人たちは教会へ行きます。それは、みなさんと同じように、教会へ来てイエスさまの話を聞いたり、讃美歌を歌ったり、お祈りをするうちに、だんだん心も穏やかになって、力が湧いて来ることを知っているからです。そう、安息日の日に行われる教会学校や礼拝は、私たちの心と体が元気になるためにあるのです。イエスさまが「安息日は、人のために定められた。だから、人の子は安息日の主でもある」とは言われたのは、そういう意味です。イエスさまは、みんながこうして日曜日に教会学校に来て、心と体が元気になることがとても嬉しいのです。どうかこれからも続けて来てくださいね。

### ★分級への展開

○讚美しよう                      \*讃美歌は”こどもさんびか”(日キ版)より

□103番      □改訂版58番

○はなしてみよう

- ・安息日の本来の意味を、旧約聖書の「十戒」や「律法」に遡って考えてみましょう。
- ・私たちにとって、安息日が本当の意味での安息となっているかどうか検証してみましょう。

○やってみよう

### ☆「麦」落としをしよう

<用意するもの>

麦。花屋さんで売っている青い麦2～3（ない場合は麦を画用紙に描いて切り抜いてもいい）。

輪になって座り両手を後ろに廻して床の上を動かし麦を探す。

鬼は輪の外側を歌いながら麦を持って廻る。

歌っている間に誰かの後ろにこっそり麦を置く。

後ろに麦があることを見つけたこどもはすぐに麦を持って立ち上がり輪の外側に出て鬼を追いかける。

鬼は捕まる前に立った子どもの席に座る。麦を持った子は鬼になる。

座る前に捕まったらもう一度鬼になる。

♪ハンカチ落としの歌

おとした、おとした、麦の穂落とした、拾った方は追いかけておいで拾った方は追いかけておいで。

※安息日ビジュアル聖書百科 p155 安息日

★今週の聖句

「その人に、『手を伸ばしなさい』と言われた。」

マルコ3:1-12

★ねらい

安息日は、すべての人にとって、救いと喜びの日であることを伝えたい。

★説教作成のポイント

先週の日課に続く、安息日論争である。「人の子は、安息日の主でもある」(2:28)という御言葉のとおり、イエスが安息日の主であり、イエスの御言葉と御業が礼拝を通して顕わされる日が安息日であることを伝えたい。それゆえ、その日、主の救いの御業から漏れてしまってよい人など一人もいないことも、合わせて伝えたい。

★豆知識

テキストに登場する「ヘロデ派」とは、ガリラヤ地方を治めていたヘロデ家の支持者たちで、権力維持のためにローマと妥協することもやむなしとしていた。一方、ファリサイ派は律法の厳格な解釈と実践に務めた人たちで、政治的には反ローマの立場だった。したがって、両者は本来は相容れない間柄だったが、イエスを殺そうとする目論みにおいては一致したのである。

★説教

今日は、イエスさまが手の不自由な人を癒されたお話です。みなさんの中にも怪我をして手の骨を折ってしまったことある人はいませんか？骨が折れると、痛いし、不便だし、包帯でぐるぐる巻きになるので悲しいですよ。イエスさまがいやされた人は、もともと手の骨が曲がってしまう病気だったようです。だからギブスをはめても治らず、長い間苦しんでいました。お医者さんでも治せなかったのです。でも、イエスさまは病気を癒す力をもっておられましたから、治すことが出来ました。「手を伸ばしなさい」と、一言イエスさまが言われただけで、その人の手は元通りになりました。嬉しかったでしょうね。

ところがその様子を見て、けしからん！と思った人たちがいました。ファリサイ派とヘロデ派の人たちです。なぜそう思ったのかというと、イエスさまが手の不自由な人を癒された日が、安息日だったからです。先週のお話を覚えていますか？やはり、安息日のお話でした。イエスさまの弟子たちが、安息日に麦の穂を摘んでいるのを見て、「なぜ、してはならないことをするのか」と言っていましたね。律法によると、神さまを礼拝する安息日の日には、仕事をしてはいけないことになっていました。それで、麦の穂を摘むことも、病気の人を治すことも、ダメだ！と、ファリサイ派やヘロデ派の人たちは考えたのです。

イエスさまは、彼らに言いました。「安息日に律法で許されているのは、善を行うことか、悪を行うことか。命を救うことか、殺すことか」。答えは分かりますね。悪いことではなく、善いことをすること。殺すことではなく、命を救うことこそ神さまが喜ばれることです。だから、イエスさまもそうなさいました。その人の病気が治るために、その人が元気になるために。イエスさまは、いつも私たちのために善いことをしてくださいます。私たちもイエスさまのように、勇気をもって善いことをできる力を神さまからいただきましょう。

### ★分級への展開

○さんびしよう                      \*讃美歌は”こどもさんびか”(日キ版)より

5番     改訂版48番

○はなしてみよう

- ・ イエスさまは、なぜ敢えて「安息日」に病を癒そうとされたのでしょうか？しかも、病人を、会堂の「真ん中」に立たせて！
- ・ イエスさまは、この日、会堂に集まって来た人々の反応を見て、怒り、そのかたくなな心を悲しまれました。私たちの心は、どうでしょうか？イエスさまを悲しませ、怒らせてしまうことはないでしょうか？

○やってみよう

☆<〇〇さんが言いました>のゲームを「イエスさまが言われました」にして遊ぼう。

輪になって座る。

鬼は真ん中に立つ。

鬼は「イエスさまが言われました」と前置きを言ってから最初に「手を伸ばしなさい」と言う。その後は好きな動作を自由に指示して他の人は従う。「イエスさまが言われました」と言う前置きのない時は従わなくて良い。前置きがないのに言われた動作をしてしまったら間違い。3回間違えたら鬼を代わる。

鬼が代わっても最初は「イエス様が言われました、手を伸ばしなさい」で始める。